

空想旅行案内人

FOLON: AGENCY OF IMAGINARY JOURNEYS

ジャン＝ミッシェル・フォロン

2024.7.13 (土) — 9.23 (月)

○会場＝東京ステーションギャラリー

○休館日＝月曜日[ただし7/15、8/12、9/16、9/23は開館]、7/16(火)

○開館時間＝10時—18時[金曜日10時—20時] ※入館は閉館30分前まで

○主催＝東京ステーションギャラリー[公益財団法人東日本鉄道文化財団]、東京新聞、フォロン財団(ベルギー)

○後援＝ベルギー王国大使館 ○特別協力＝ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)

○協賛＝T&D 保険グループ

《見知らぬ人》1991年、フォロン財団

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY





ジャン=ミッシェル・フォロン (Jean-Michel Folon, 1934-2005) は、20世紀後半のベルギーを代表するアーティストのひとりです。若いころ絵画世界に惹きつけられたフォロンは、1955年に移住したパリ近郊でひたすらドローイングを描く日々を送ります。フランスではなかなか芽が出ませんでした。アメリカの『ザ・ニュー Yorker』や『タイム』などの有力誌で注目され、1960年代初頭にはそれらの表紙を飾るようになります。その後、各国で高く評価され、世界中の美術館で展覧が開催されるなど目覚ましい活躍をみせました。色彩豊かで詩情あふれるその作品は一見すると美しく爽やかですが、そこには環境破壊や人権問題など厳しい現実への告発が隠れていると同時に、孤独や不安の感情が通奏低音のように流れています。本展は初期のドローイングから水彩画、版画、ポスター、そして晩年の立体作品まで約230点を紹介する、日本で30年ぶりとなる大回顧展です。デジタル化やパンデミック、戦争など、社会的に大きな転換期にある現代、環境や自由への高い意識をもち、抑圧や暴力、差別などに静かな抗議を続けてきたフォロンの芸術を、いま、あらためて見直します。



色彩の魔術師

美しい色彩はフォロン作品最大の魅力。色数は決して多くありませんが、限られた色彩を巧みに組み合わせ、多彩な技法を駆使して、奇跡のような美しい世界が創造されます。

貝どころ

矢印はフォロンのお気に入り。作品にも至るところに描かれます。ところがその矢印ときたら、いったいどこを指しているのやら。矢印に従うと、かえって迷子になりそうです。

矢印と迷宮

若いころドローイングに打ち込んでいたフォロン。その線は伸びやかで躍動的ですが、まるであらかじめ決められていたかのように的確で、少しも迷いが感じられません。

線の職人

フォロンの作品は親しみやすく、爽やかでユーモラス。でも油断は禁物です。やさしい微笑みの裏には、静かな怒りや厳しい現実が隠されているかもしれません。

やさしい悪魔？

謎のリトル・ハット・マン

作品にしばしば登場するリトル・ハット・マンは、今回の空想旅行の同伴者。「私に似たある誰か」とあると同時に「誰でもない」とフォロンが言う彼は、いったい何者？



3



4



5



6



7

1. 《大天使》2003年 / 2. 《秘密》1999年 ©photograph by Fernandez / 3. 『世界人権宣言』表紙 原画) 1988年 / 4. 《無題》 / 5. 《無題》 / 6. 《グリーンピース 深い深い問題》1988年 / 7. 《いつもとちがう(雑誌『ザ・ニュー Yorker』表紙 原画)》1976年

2024. 7. 13 (土) — 9. 23 (月)

FONDATION FOLON

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

○入館料 = 一般 1,500 (1,300) 円、高校・大学生 1,300 (1,100) 円、中学生以下無料

東京新聞
140th

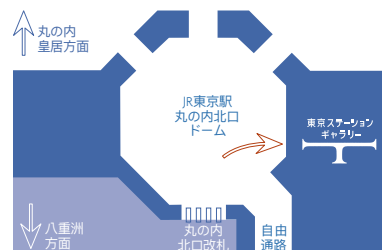
※ () 内は前売料金 [6/1-7/12 オンラインチケットで販売] ※ 障がい者手帳等持参の方は 200円引き (介添者 1 名は無料)
※ チケット販売 = オンラインチケット www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ (前売券・当日券)、当館 1 階入口 (当日券)
※ 都合により開催内容が変更になる場合があります ※ 最新情報や関連イベントは美術館ウェブサイトでご案内します



オンラインチケット

作品はすべてフォロン財団蔵 ©Fondation Folon, ADACP/PARIS, 2024-2025
制作年の記載がないものはすべて不詳

○次回展 = テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする (仮称)
2024 年 10 月 12 日 (土) ~ 2025 年 1 月 5 日 (日)



東京都千代田区丸の内 1-9-1
JR 東京駅 丸の内北口 改札前
03-3212-2485

<https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

空想旅行案内人

FOLON: AGENCY OF IMAGINARY JOURNEYS

ジャン＝ミッシェル・フォロン

2024. 7. 13 (土) — 9. 23 (月)



○会場＝東京ステーションギャラリー

- 休館日＝月曜日[ただし 7/15、8/12、9/16、9/23 は開館]、7/16(火)
- 開館時間＝10時—18時[金曜日 10時—20時] ※入館は閉館 30分前まで
- 主催＝東京ステーションギャラリー[公益財団法人東日本鉄道文化財団]、東京新聞、フォロン財団(ベルギー)
- 後援＝ベルギー王国大使館 ○特別協力＝ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)
- 協賛＝T&D 保険グループ

《月世界旅行》1981年、フォロン財団

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



FOLON

色彩の魔術師

美しい色彩はフォロン作品最大の魅力。色数は決して多くありませんが、限られた色彩を巧みに組み合わせ、多彩な技法を駆使して、奇跡のような美しい世界が創造されます。



《大天使》2003年

5 見どころ やさしい悪魔?

フォロンの作品は親しみやすく、爽やかでユーモラス。でも油断は禁物です。やさしい微笑みの裏には、静かな怒りや厳しい現実が隠されているかもしれません。



《グリーンピース 深い深い問題》1988年

ジャン = ミッシェル・フォロン (Jean-Michel Folon, 1934-2005) は、20世紀後半のベルギーを代表するアーティストのひとりです。若いころ絵画世界に惹きつけられたフォロンは、1955年に移住したパリ近郊でひたすらドローイングを描く日々を送ります。フランスではなかなか芽が出ませんでした。アメリカの『ザ・ニュー Yorker』や『タイム』などの有力誌で注目され、1960年代初頭にはそれらの表紙を飾るようになります。その後、各国で高く評価され、世界中の美術館で個展が開催されるなど目覚ましい活躍をみせました。色彩豊かで詩情あふれるその作品は一見すると美しく爽やかですが、そこには環境破壊や人権問題など厳しい現実への告発が隠れていると同時に、孤独や不安の感情が通奏低音のように流れています。本展は初期のドローイングから水彩画、版画、ポスター、そして晩年の立体作品まで約230点を紹介する、日本で30年ぶりとなる大回顧展です。デジタル化やパンデミック、戦争など、社会的に大きな転換期にある現代、環境や自由への高い意識をもち、抑圧や暴力、差別などに静かな抗議を続けてきたフォロンの芸術を、いま、あらためて見直します。

4 見どころ 矢印と迷宮

矢印はフォロンのお気に入り。作品にも至るところに描かれます。ところがその矢印ときたら、いったいどこを指しているのやら。矢印に従うと、かえって迷子になりそうです。



《無題》

線の職人

若いころドローイングに打ち込んでいたフォロン。その線は伸びやかで躍動的ですが、まるであらかじめ決められていたかのよう的確で、少しも迷いが感じられません。

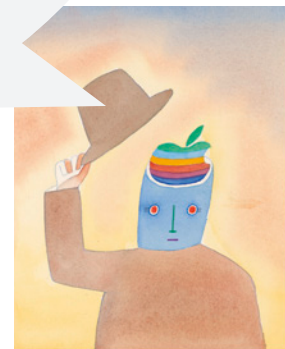


見どころ

《無題》

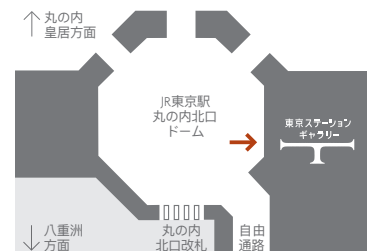
3 謎の リトル・ハット・マン

作品にしばしば登場するリトル・ハット・マンは、今回の空想旅行の同伴者。「私に似たある誰か」であると同時に「誰でもない」とフォロンが言う彼は、いったい何者?

《秘密》1999年
©photograph by Fernandez

《無題》1983年頃

FONDATION
FOLON
東京新聞 140th
東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



東京都千代田区丸の内 1-9-1

JR 東京駅 丸の内北口 改札前

03-3212-2485

<https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

○入館料＝一般 1,500(1,300)円、高校・大学生 1,300(1,100)円、中学生以下無料

※()内は前売料金 [6/1-7/12 オンラインチケットで販売] ※障がい者手帳等持参の方は200円引き(介添者1名は無料)

※チケット販売＝オンラインチケット www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ (前売券・当日券)、当館1階入口(当日券)

※都合により開催内容が変更になる場合があります ※最新情報や関連イベントは美術館ウェブサイトでご案内します

作品はすべてフォロン財団蔵 ©Fondation Folon, ADAGP/PARIS, 2024-2025

制作年の記載がないものはすべて不詳

○次回展＝テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする(仮称)

2024年10月12日(土)～2025年1月5日(日)



オンラインチケット

空想旅行案内人

FOLON: AGENCY OF IMAGINARY JOURNEYS

ジャン＝ミッシェル・フォロン

2024. 7. 13 (土) — 9. 23 (月)



○会場＝東京ステーションギャラリー

○休館日＝月曜日[ただし 7/15、8/12、9/16、9/23 は開館]、7/16(火)

○開館時間＝10時～18時[金曜日10時～20時] ※入館は閉館30分前まで

○主催＝東京ステーションギャラリー[公益財団法人東日本鉄道文化財団]、東京新聞、フォロン財団(ベルギー)

○後援＝ベルギー王国大使館 ○特別協力＝ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)

○協賛＝T&D 保険グループ

《いつもとちがう(雑誌『ザ・ニュー Yorker』表紙 原画)》1976年、フォロン財団

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY





ジャン=ミッシェル・フォロン (Jean-Michel Folon, 1934-2005) は、20世紀後半のベルギーを代表するアーティストのひとりです。若いころ絵画世界に惹きつけられたフォロンは、1955年に移住したパリ近郊でひたすらドローイングを描く日々を送ります。フランスではなかなか芽が出ませんでした。アメリカの『ザ・ニュー Yorker』や『タイム』などの有力誌で注目され、1960年代初頭にはそれらの表紙を飾るようになります。その後、各国で高く評価され、世界中の美術館で展覧が開催されるなど目覚ましい活躍をみせました。色彩豊かで詩情あふれるその作品は一見すると美しく爽やかですが、そこには環境破壊や人権問題など厳しい現実への告発が隠れていると同時に、孤独や不安の感情が通奏低音のように流れています。本展は初期のドローイングから水彩画、版画、ポスター、そして晩年の立体作品まで約230点を紹介する、日本で30年ぶりとなる大回顧展です。デジタル化やパンデミック、戦争など、社会的に大きな転換期にある現代、環境や自由への高い意識をもち、抑圧や暴力、差別などに静かな抗議を続けてきたフォロンの芸術を、いま、あらためて見直します。



色彩の魔術師

美しい色彩はフォロン作品最大の魅力。色数は決して多くありませんが、限られた色彩を巧みに組み合わせ、多彩な技法を駆使して、奇跡のような美しい世界が創造されます。

貝どころ

矢印はフォロンのお気に入り。作品にも至るところに描かれます。ところがその矢印ときたら、いったいどこを指しているのやら。矢印に従うと、かえって迷子になりそうです。

矢印と迷宮

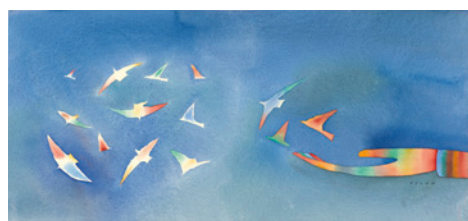
若いころドローイングに打ち込んでいたフォロン。その線は伸びやかで躍動的ですが、まるであらかじめ決められていたかのよう的確で、少しも迷いが感じられません。

線の職人

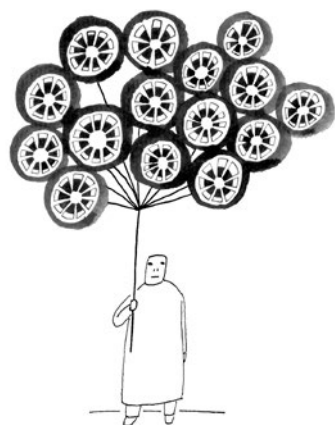
フォロンの作品は親しみやすく、爽やかでユーモラス。でも油断は禁物です。やさしい微笑みの裏には、静かな怒りや厳しい現実が隠されているかもしれません。

やさしい悪魔？

謎のリトル・ハット・マン



3



4



5



6



7

1.《大天使》2003年 / 2.《1番目の考え》1997年 / 3.『世界人権宣言』表紙 原画 1988年 / 4.《無題》 / 5.《無題》 / 6.《グリーンピース 深い深い問題》1988年 / 7.《見知らぬ人》1991年

2024. 7. 13 (土) — 9. 23 (月)

FONDATION FOLON

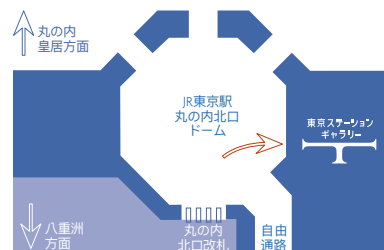
東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

○入館料＝一般 1,500 (1,300) 円、高校・大学生 1,300 (1,100) 円、中学生以下無料

※ () 内は前売料金 [6/1-7/12 オンラインチケットで販売] ※ 障がい者手帳等持参の方は 200 円引き (介添者 1 名は無料)
※ チケット販売＝オンラインチケット www.e-tix.jp/ejrcf_gallery/ (前売券・当日券)、当館 1 階入口 (当日券)
※ 都合により開催内容が変更になる場合があります ※ 最新情報や関連イベントは美術館ウェブサイトでご案内します

作品はすべてフォロン財団蔵 ©Fondation Folon, ADACP/PARIS, 2024-2025
制作年の記載がないものはすべて不詳

オンラインチケット



東京都千代田区丸の内 1-9-1
JR 東京駅 丸の内北口 改札前
03-3212-2485

<https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

○次回展＝テレンス・コンラン モダン・ブリテンをデザインする (仮称)
2024 年 10 月 12 日 (土) ～ 2025 年 1 月 5 日 (日)